

青年部の活動



りんごを箱詰めする青年部員

特産物で親交を深める

～JA青年部交流活動～

みなみ地区青年部(北山朋宏部長)は11月8日、「JA青年部交流活動」の一環として和歌山県JA紀南の青年部へりんごを送るため、平賀青果センターで箱詰め作業を行いました。同地区青年部員がりんごを持ち寄り、「サンふじ」150箱(1箱/10kg)と「王林」50箱(同)を箱詰めして発送しました。

両青年部は平成16年のJA全国青年大会から交流を開始し、互いにりんごやみかんの宣伝販売をするなど交流を深めてきました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年からは両JAの特産物であるりんごとみかんを購入し合うことで交流を図ることになりました。

部員同士の交流図る

～常盤地区青年部ソフトボール大会～

常盤地区青年部(古川智英部長)は11月19日、平賀ドームでソフトボール大会を開きました。部員同士の交流を深めることが目的で、青年部員とJA職員約20人が参加し、2チームに分かれて試合をしました。

両チームとも力強い打撃と華麗な守備で激しい攻防を繰り広げ、盛り上がりを見せました。



ソフトボールの試合をする青年部員

適正施肥で安定生産

～令和4年用肥料相談会～

黒石基幹グリーンセンターは12月上旬、令和4年用肥料の相談会を開きました。

相談会には約50人の生産者が訪れ、JAの営農指導員と施肥などについて相談し、来年使用する肥料の注文書を作成しました。

同センターの佐藤清昭営農指導調査役は「昨年に比べて収量が減少した農作物もあるので、令和4年産の増収、品質の向上生産のためにもJAへ施肥について相談してほしい。また、肥料のコスト低減や見直しのために土壌診断の利用もしてほしい」と話しました。



職員に施肥について相談する生産者